

⑧ コンピュータウイルス

指導項目の分類

セキュリティに関すること

対象・教科等

中学校 道徳、技術・家庭、総合的な学習の時間、特別活動など

指導のねらい

- (1) コンピュータウイルスとは何か、社会にどのような影響を与えているのか理解させる。
- (2) コンピュータウイルスに対する対策方法を理解させる。

指導の手引

- ・ コンピュータウイルスが電子メールに添付されてきて被害を受けたり、ウイルスに関するデマ情報が電子メールで配信され、不安や混乱が生じるという問題が起ったりしている。また、最近では、Web ページを見たり、ネットワークに接続したりしただけで感染するウイルスも流行している。
- ・ ウイルスの実態や社会に与える影響、被害を受けないための知識、被害にあった場合の対処方法について指導する。

(コンピュータウイルスへの対策)

- (1) ウイルス対策ソフトをインストールする。
- (2) ウイルス対策ソフトのウイルス定義パターンファイルを常に更新しておく。
- (3) OS のアップデートを実施する。

<参考>

総務省情報通信白書 for Kids

<http://www.kids.soumu.go.jp/internet/caution/>

展開例	
学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習のめあてを知る 2 ワークシートの事例を読む 3 思ったことを書いてみる 4 友達やグループで「ウイルスへの対策」について話し合う 5 意見をまとめて数人が発表する 6 自分の感想や意見を書く 7 本時の学習をまとめる 8 自己評価をおこなう	(Web ページを使った体験的な学習活動を取り入れる場合は、2と3の部分を活動にあてる。) ・ウイルス感染の被害や影響を具体的に理解させる。 ・ 感染した場合の周囲への影響を考えるとともに、ウイルスに対する具体的な防衛策や技術を身に付けさせる。 ・ ウイルス定義パターンファイルや OS のアップデートの必要性を理解させる。

発展的な学習
・ スパイウェアと呼ばれるコンピュータに潜んで、情報を盗み出すプログラムの被害も増加していることや、その対策について理解させる。

関連項目
「データの流出」